

# スライドシステム再構築

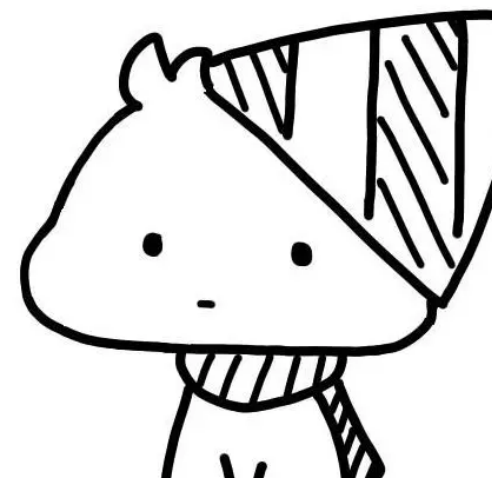
多田 瑛貴 ただてるき



# 自己紹介

多田 瑛貴 ただてるき  
FUN 学部3年 複雑系コース

言語: Rust / TypeScript (Svelte)  
主な関心: 空間情報処理 / Webグラフィックス



## 6.誰もが知っているらしい未来大生の弱点(Leak a weak point)

- ・ Leak a weak pointタイム
  - ・ マリカンの24春LTで自分が初めてやったやつ
  - ・ 初めての人はジャンボさん
  - ・ 今年は多めにぐらいリークします
- 未来大生なら誰でも知っているらしいです
  - ・ Leak a weak pointという名前はPironiumさんが考えてくれました。

弱点

ない



テーマ: 今ハマっていること

# スライド作り

- 9/29 函館高専合同LT
- 10/6 YAPC函館市電LT

(ハマる＝苦しむ)



スライドを"簡単に"共有したい

# 簡単に？

- テキスト書くだけでデザインごと作れる
- git管理できる
- 作った直後にWeb上にアップロード
  - デバイス関係なくプレゼンできる
  - QRコードも自動で作成して共有
- 過去のスライド一覧もWebで自動作成

# 成果物

<https://slides2.peruki.dev>



# テキストでスライド作成

**Marp:** Markdownでスライドを作成するツール

htmlやpdf等の複数プラットフォームにビルド可能



# Mariners' Conference 未来祭LT 2024

```
1 ---
2 marp: true
3 title: スライドシステム再構築
4 description: スライドの作成用システムを再構築しました
5 theme: peru24
6 paginate: true
7 header: Mariners' Conference 未来祭LT 2024
8 session: 未来祭LT 2024
9 date: 2024-10-13
0 tags: LT, Marp, Svelte
1 thumbnail: img/thumbnail.webp
2 ---
```

## # スライドシステム再構築

多田 瑛貴 ただ てるき

![bg right:25% 70%](img/qr.png)

---

## # 自己紹介

多田 瑛貴 ただ てるき

FUN 学部3年 複雑系コース

![bg right:50% 70%](img/peruki.webp)

---



Mariners' Conference 未来祭LT 2024

## スライドシステム再構築

多田 瑛貴 ただ てるき



1/12

Mariners' Conference 未来祭LT 2024

## 自己紹介

多田 瑛貴 ただ てるき

FUN 学部3年 複雑系コース



2/12

Mariners' Conference 未来祭LT 2024

# 使う手順

- `vscode`でMarkdownを編集
- 魂の`git push origin main`
- 待つ！
  - **GitHub Actions**が各種ビルドをしてくれる
  - `main-deploy`ブランチにスライドがアップロードされる
  - **Cloudflare Pages**で公開される

# GitHub Actionsについて

## Github Actions

Gitのpushやpull requestなどのイベントに対して、自動で処理を行う機能

`git push`と同時にタスクを起動してくれる

# GitHub Actionsがやること (色々！)

- `slides`ディレクトリ内のMarkdownを探す
  - `marp-cli`でHTMLにビルド
  - 画像をリサイズしたwebpに変換
  - QRコードを作成し画像に追加
  - スライドからタイトルや詳細を取得
    - JSONのスライドリストを作成
- スライド一覧のWebページをビルド
  - ビルドしたスライドや画像をWebページのサブディレクトリに再配置
  - JSONのスライドリストに基づいて一覧を作成



# 考慮すべきことたくさん

- 画像素材を直接pushはしたくない
  - リサイズした画像のみ差分を考慮したい
- 全スライドのビルドは時間がかかる
  - Markdownのハッシュを作成し、JSONのスライドリストに格納  
更新されているスライドのみビルドする

Shell Scriptが地獄になる

# 地獄のShell Script

```
find slides -name '*.md' -print | while read -r file; do  
...(marp-cliを実行しHTMLを生成)  
...(画像をwebpに変換 with ImageMagick)  
...(スライドのリストをjson形式で作成)  
done
```

Actionsで実際に動かすのは合計150行くらい

# デプロイ

**Cloudflare Pages**でデプロイ

Webフロントエンドのホスティングサービス

git連携機能つき

GitHub上のレポジトリと同期して  
スライダー覧のWebページをビルド

デモ

## まとめ

- Marpはいいぞ
  - テキストで簡単にスライドを作成
  - **(テキストだからこそ自動化できる！)**
- Shell Scriptはいいぞ
  - CLIを組み合わせて作業自動化
- GitHub Actionsはいいぞ
- Cloudflare Pagesはいいぞ
- Svelteはいいぞ